

のロ  
グマ  
殖養  
全マ  
完ク

# 本格出荷を開始

## プリミー まず海外市場開拓

水産加工のプリミー（熊本県天草市、浜忠臣社長）は24日、近畿大学から導入した人工ふ化した稚魚による完全養殖クロマグロの本格出荷を始めたと発表した。当初は米国中心に供給し、2012年以降には年7000万匹、10億円規模を出荷する計画だ。同社によると、出荷できるまで完全養殖マグロを育てたのは近畿大関連以外の企業で初めてという。

プリミーは07年、世界以外では初めて導入。生で初めてクロマグロの完全養殖に成功した近畿大水産研究所から、人工ふ化したマグロの稚魚1500匹を同大関連の企業

以外では初めて導入。生き残った約900匹のマグロは体長1・2メートル、重さ40キロ程度まで育っており、他社に先駆けて出荷することを決めた。

天然モノ志向が強い日本より、まず米国など海外市場を開拓する。昨秋から米国の水産物商社を通じて西海岸を中心に試験出荷を始めており、3月以降は東海岸にも営業活動を展開する予定。クロマグロは日本食の普及などで世界的に需要が伸びる一方で、資源減

めた。

少を問題視する声が強ま

っており、東大西洋や地中海では漁獲規制が進み

ル（持続可能な「マグロ」）おり、10年6月期の売上高は約20億円を見込む。

殖マグロを、天然資源をえ。プリミーは養殖プリ

減らさない「サステナブル」などを国内外に出荷して

つがある。同社は完全養として売り込みたい考

高は約20億円を見込む。